

会告

- 2021 年度各賞受賞候補者の推薦について
- Mate2022 第 28 回「エレクトロニクスにおけるマイクロ接合・実装技術」シンポジウム
— 半導体・実装のテクノロジー・ドライバー ～スケーリングからヘテロジニアス・インテグレーションへ～ 参加者募集
- IIW 2022 年次大会（東京大会）国際会議への投稿について
- 2022 年度会員会費の口座引落日のお知らせ及び会費自動振替制度ご利用のお願い
- Best Author 賞（JWS Best Author Award）の推薦について
- WEB 掲載の溶接学会論文集 39 巻（2021 年度）の印刷物の購入について
- 2022 年度春季全国大会講演概要の頒布について

2021 年度各賞受賞候補者の推薦について

下記により 2021 年度佐々木賞、田中亀久人賞、溶接学会業績賞、溶接学会技術貢献賞、妹島賞の各受賞候補者を募集いたしますので、適格者がございましたら、所定の推薦書（本会 HP より入手下さい）によりご推薦下さいませようお願いいたします。

項 目	佐々木賞	田中亀久人賞	溶接学会業績賞	溶接学会技術貢献賞	妹島賞
授賞対象	多年にわたり溶接技術の開発、又は応用・普及に関し、その業績顕著なもの及び溶接技術について後進の教育指導、育成の業績顕著な者。	ガス炎を利用した溶接・切断・工作等及び溶接技術全般に関し、研究・技術開発についてその業績顕著な者。	溶接の学術に関する各部門において優秀な業績を挙げた者。	溶接技術の開発、又は応用普及に中核的な役割を果たし、その業績顕著なもの及び溶接技術について若手技術者への教育・指導・育成の業績顕著な者。	溶接プロセス（ハード及びソフト）に関する技術開発並びにその応用に尽力し、長年に亘って生産・製造において多大な貢献のあった者（個人又は団体）
候補者資格	本会会員	本会会員に限らない			
推薦者資格	本会会員				
推薦手続	次の事項を記載した文書（所定の書式）6部を学会長宛（溶接学会事務局）に提出する。 イ. 候補者の氏名、職業・勤務先・役職名 ロ. 候補者の略歴 ハ. 賞を受けようとする業績の詳細（裏付となる資料を添付） ニ. 推薦者の氏名、連絡先 溶接学会業績賞については、賞を受けようとする該当分野とそこでの学術に関する業績の詳細及び該当分野に関する論文リストを添付する。溶接学会技術貢献賞については、賞を受けようとする業績の詳細を添付する。				
推薦書提出期限	2021 年 12 月 31 日				
授賞年月日	2022 年 4 月 13 日を予定（第 90 回通常総会）				
その他	多年にわたる業績をお考え下さい。年齢に制限はありませんが、溶接に通算 15 年以上関与したことを原則とします。また、その業績には公的な活動が含まれていることが望ましい。業績については詳細に述べ、十分な裏付資料を添付するようして下さい。	佐々木賞が多年にわたる業績（功労）を対象とするのに対し、本賞はある時期に示された優れた業績を対象とします。特許資料、公刊誌への発表・紹介など、業績を裏付けるための十分な資料を添付して下さい。	第1部門：溶接・接合、熱加工プロセス及び機器 第2部門：制御、システムの工学・技術及び組立実装技術 第3部門：材料及び溶接・接合性 第4部門：材料・製品の強度・破壊と設計 第5部門：施工・管理及び品質保証・品質管理 第6部門：新領域・境界技術	佐々木賞と同様、開発並びに技術普及・教育等の活動を含めて複数の業績があり、年齢は 45 才以下であることを原則とします。業績については詳細に述べ、十分な裏付資料を添付するようして下さい。 ※受賞時には、本会会員であることが必要です。	故 妹島五彦君による寄贈基金で運用されており、妹島君が活躍された溶接プロセス分野の業績をお考え下さい。

Mate2022 第28回「エレクトロニクスにおけるマイクロ接合・実装技術」シンポジウム —半導体・実装のテクノロジー・ドライバー ～スケーリングからヘテロジニアス・インテグレーションへ～— 参加者募集

日時：2022年2月1日(火)～14日(月)
開催方式：オンライン(オンデマンド+ライブQ&A)
主催：(一社)スマートプロセス学会 エレクトロニクス生産科学部会
 (一社)溶接学会 マイクロ接合研究委員会
共催：(一社)エレクトロニクス実装学会
 (公社)化学工学会 エレクトロニクス部会
 (一社)レーザ加工学会
協賛：応用物理学会、軽金属学会、精密工学会、電子情報通信学会、日本機械学会、日本金属学会、日本材料学会、日本溶接協会

<開催趣旨>

日本のエレクトロニクス産業は、高機能化、高信頼化、小型化、低コスト化の技術開発に支えられた新たな電子デバイス・部品を組み込んだ電子システム創成の下、日本の成長を牽引してきました。さらに今後、IoTやAIを活用した未来社会を実現していくためには、生産技術の科学的探求をベースとしつつ、既存の学問領域、設計・生産技術などの領域を越えて、エレクトロニクスを取巻く科学技術、経営・生産システム、価値システム、などの広い範囲を取り込んだオプティマイゼーションとそれに基づくシステムインテグレーションが不可欠になってきています。本シンポジウムは、これら生産技術に関する最新の研究・開発に関する研究者相互の情報交換の場をより広くかつ定期的に持ち、生産の科学と技術の進展を促すことを目的として企画開催されます。

【参加費】*税込み、論文集PDFダウンロード付

	2022/1/14 まで	1/15 以降
主催団体個人会員	16,000円	18,000円
主催団体シニア会員	8,000円	10,000円
大学・国公立研究機関	16,000円	18,000円
口頭発表者・座長	16,000円	18,000円
主催団体維持・賛助会員	20,000円	22,000円
共催団体会員	20,000円	22,000円
協賛団体会員	25,000円	27,000円
一般	30,000円	32,000円
学生	7,000円	9,000円

■論文集(冊子)：5,000円

*希望者は参加申込み時にお申込み下さい。

【シンポジウム参加申込方法】

下記シンポジウムURLより、2022年1月14日(金)までに参加登録を行って下さい(1月15日以降も同リンク先より受付致しますが、視聴用ID・パスワードの発行にお時間を頂く場合があります)。

<https://confit.atlas.jp/mate2022>

○参加費は銀行振込にてお支払い下さい。
 振込先銀行：三井住友銀行 千里中央支店
 口座番号：普通0978673
 口座名：Mate組織委員会 [メイトソシキインカイ]
 振込期限：2022年2月28日(月)

【問合せ、申込先】 Mate 2022 事務局

TEL：06-6879-7568 FAX：06-6879-7568

E-mail：mate@sps-mste.jp

シンポジウムURL：

<https://confit.atlas.jp/mate2022>

【予定プログラム(セッション名と発表件数)】

●プレナリーセッション

テーマ 「半導体・実装のテクノロジー・ドライバー
 ～スケーリングからヘテロジニアス・インテグレーションへ～」

- 半導体・デジタル産業戦略について
 荻野 洋平氏 経済産業省 商務情報政策局
 情報産業課 デバイス・半導体戦略室
- チップレット化時代における半導体実装技術の新潮流
 折井 靖光氏 長瀬産業株式会社 NVC室

●依頼講演+一般論文+速報論文発表

接合信頼性

ナノ・マイクロマテリアル

有機/無機接合(1)

有機/無機接合(2)

ソルダリング

接合プロセス・接合特性(1)

接合プロセス・接合特性(2)

パワーデバイス(1)

パワーデバイス(2)

MEMS・医療センサ

実装基板

システム化・解析・シミュレーション(1)

システム化・解析・シミュレーション(2)

めっき

樹脂材料

次世代パッケージ

プリンタブルエレクトロニクス(1)

プリンタブルエレクトロニクス(2)

(依頼講演4件+一般論文発表49件+速報論文発表30件
 合計83件)

IIW 2022年次大会(東京大会)国際会議への投稿について

IIW(国際溶接学会)の2022年次大会(東京大会)が2022年7月17日(日)～22日(金)に開催されます。

IIW年次大会・国際会議は18の常置の専門委員会と溶接・接合国際会議(International Conference on Welding and Joining)で構成されています。

日本開催のIIW年次大会を大いに盛り上げるため国際会議に論文の投稿をお願いします。

11月中旬には国際会議のCALL FOR PAPERSのサイトが公開さ

れAbstract Submissionも受け入れ可能となっております。
 詳細は下記URLからお願いします。

IIW 2022年次大会ホームページ

<https://www.iiw2022.com/index.html>

国際会議(International Conference on Welding and Joining)

<https://www.iiw2022.com/cfp.html>

2022年度会員会費の口座引落日のお知らせ及び会費自動振替制度ご利用のお願い

本会では事務の省力化のため、金融機関預金口座振替システムを利用した「会費自動振替制度」を実施しておりますのでご利用をお願いいたします。会員会費の納入方法を口座引落しされている方の2022年度会費の口座引落日及び会費は次のとおりです。ご準備くださいますようお願いいたします。

口座引落日：2021年12月23日（木）

2022年度正員会費	13,000円
2022年度学生会費	6,000円
2022年度賛助員会費	42,000円×口数

なお、会費の未納分がある方は、2022年度会費とあわせて引き落とさせていただきます。

引き落としがされますと通帳に「MFS（ヨウセツカイヒ）」（個人会員の会費の略）と記入されます（お取引金融機関により若干異なる場合もあります）。

領収書は原則として発行いたしません。発行を希望される方は、引落としを確認後領収書を発行いたしますので、事務局までお申し出ください。

口座引落としについての問い合わせ先：

一般社団法人溶接学会 会員係

TEL 03（5825）4073

引落口座の変更等は10月末日までにご連絡下さい。

Best Author賞（JWS Best Author Award）の推薦について

下記により Best Author 賞の推薦を募集いたします。

本年第1号（1月号）から第8号（12月号）までに会誌に掲載された記事の中から優秀と認められるものを、巻号、題名、著者、推薦理由を記して、1編、編集委員会宛ご推薦下さい。

（2022年1月31日まで）

【賞の概要】

会誌「溶接学会誌」に発表された記事のうち、特に多数の会員の研鑽、及び、学術、技術の向上、普及に貢献した記事の著者に授与される。

【選考委員】

同賞選定委員会

委員長：会誌編集委員長

委員：編集委員より数名（各分野代表＋総合企画＋副委員長）

【選考方法】

会誌編集委員および会員モニタの推薦による記事の中から選定委員会で選定する。

【選考基準】

溶接学会誌の本年第1号（1月号）から第8号（12月号）までに掲載された記事の中から、優秀と認められるものを、原則として毎年数編以内選定する。

【表彰等】

4月通常総会席上で表彰、賞状の贈呈。

【推薦書送付先】

（一社）溶接学会 編集委員会宛

WEB掲載の溶接学会論文集39巻（2021年度）の印刷物の購入について

溶接学会論文集は、2007年1月より印刷物での発刊に代わってホームページ上にてWEB版として発刊されております。

印刷物にて一年分を纏めたものをご購入される方は、下記により、2022年3月31日までにお申込み下さいますようお願いいたします。

溶接学会論文集39巻（2021年度）

【価格】 15,800円／冊（税込・送料別）

【申込先】 「お名前（会社名）」「送付先住所」「冊数」をご明記の上、FAXにてお申込み下さい。

日本印刷出版株式会社

TEL：06-6441-0075

FAX：06-6443-5815

2022年度春季全国大会講演概要の頒布について

2015年度春季全国大会より講演概要はデジタル化され、配布方法はホームページからのダウンロードのみとなり、従来のような大会前、大会当日の販売は廃止いたしました。

ただし、印刷版の全国大会講演概要は大会終了後、希望者へ別売にて提供させていただきます。

購入を希望される方は下記要領にてお申し込みくださいますようお願いいたします。

2022年度春季全国大会講演概要

価格：12,000円（税・送料込）

発送時期：2022年6月下旬頃

【申込方法】

「書籍名」「ご連絡先」「お名前」「冊数」をご明記の上、FAXにてお申し込みください。折り返し、請求書をお送りいたします。

一般社団法人溶接学会 全国大会運営委員会 宛

F A X：03-5825-4331

申込締切：2022年5月9日（月）

入金締切：2022年5月31日（火）

なお、入金締切日までに納入がない場合ご注文はキャンセルとさせていただきます。